

日本一に挑むAカード

宿泊金額に対してポイントが加算され、獲得ポイント数に応じてフロントにて「現金でキャッシュバック」のサービス特典が与えられる「Aカード」。現在、全国150軒以上の独立系ホテルが加盟

し、ユーザー登録数は15万2千人を数える。その運営会社であるAカードホテルシステム（東京都千代田区、田中章生社長）は11日、Aカードを



田中社長

導入する加盟ホテル経営者らを東京に招き、「A

拡大が必要。日本一の組織にするために今後2年以内加盟数を300ホテルまで増やす」などと抱負を述べた。

グループを挙げてのターゲットについて説明した。

カードトップ会」を開催した。トップ会は、Aカードの事業報告などを行う一方、加盟ホテル間の親睦を図る目的もあり、毎年、開かれている。トップ会当日は、事業報告

Aカードの特徴はホテル側の導入費用が安く、またカードの発行からポイント管理、顧客データの集計・分析、帳票出力までAカード事務センターが支援し、ホテルスタッフのオペレーション上の手間を軽減する、などがある。

独立系ホテルの弱点克服

に加え、加盟ホテルの経営アンケートを基にした分析結果の発表、ユーザーを対象にしたホテル利用実態のアンケート結果の発表、売り上げ向上と経費削減対策を話し合うグループワークなどを行った。

田中社長は、「大手チェーンに対抗するためには規模の

独立系ホテルは全国規模での宣伝力、ネットワークが弱く、大手チェーンホテルの知名度に及ばない。そういった弱点を克服するためにAカードでは、インターネットやDMなどを使いネットワークホテルの共同広告宣伝活動を積極的に展開し、情報を日本全国へ発信している。